

平成17年度宮古群島病害虫発生予報第6号（9月予報）

9月の気象予報

要素別予報

要 素	気 温	降 水 量	日 照 時 間
予 報	並～高	並	少～並

(平成17年8月26日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

地域平均の要素別「平年並」の範囲

要 素	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日 照 時 間 (h)
宮古群島	27.1～27.5	176.3～264.4	197.3～215.8

(平成17年8月26日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

9月の発生予報 および防除上の注意事項

向こう1ヶ月間に農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

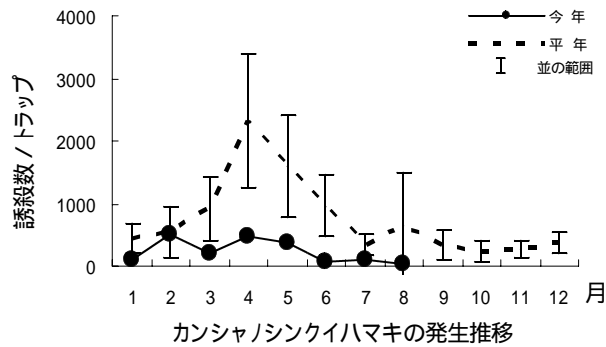
宮古群島

1 さとうきび

(1) メイチュウ類

発生程度 : やや少
予報の根拠

8月のカンシャノシンクイハマキ合成性フェロモンによるトラップ当たりの誘殺虫数は38.8頭（前年153頭、平年324頭）と平年並であった。



防除上注意すべき事項

- a 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、生育初期の防除に重点を置く。
- b 植付時には、土壌害虫の防除を兼ねた薬剤を選定し施用する。

野その防除対策について

- a 8月下旬の調査の結果、例年被害茎の多い平良市池間島における被害茎率は0.1%であった（前年同月0%、先月0%）。
- b 被害は台風で倒伏した収穫前の圃場で多くなる。
- c 10月中旬頃に市町村単位で航空防除が実施されるが、例年発生が多い圃場では地上防除を併用する。
- d 薬剤は、圃場全体に均等になるように散布する。

2 マンゴー

栄養生長期の病害虫防除対策について

- a 栄養成長期にあたるこの時期の施設では、軸腐病や炭疽病、下葉を中心にハダニ類、新葉を中心にチャノキロアザミウマ等の病害虫が多く発生する。これらの病害虫の発生動向に注意し、残渣物などは速やかに除去するとともに、収穫を終えた施設では早期防除を実施する。
- b 病害虫発生技術情報 3 号参照（H17年 8 月31日付け）。